

令和5年度 芸術科「美術Ⅲ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	全日制普通科 3年2.3.4.5.6.7.8組 選択者
教科書	高校生の美術2（日本文教出版 出版）	副教材等	鉛筆・画用紙など

1 学習の到達目標

表現の基礎となる対象を観察して的確に捉える力を養う。

2 学習の計画

月	題材名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	素描表現オリエンテーション	・鑑賞 ・デッサン	・素描表現での授業作品を鑑賞し、学習内容について理解・関心を深める。 ・芯の出し方、カッターナイフの正しい使い方を知り、鉛筆を削る。	発言内容 作業の様子
5	人物のクロッキー	・クロッキー ・鑑賞	・人体の形をすばやく正確につかむ訓練として、短時間にお互いにモデルになりクロッキーを行う。参考作品を鑑賞し、学習内容について理解・関心を深める。 ・全身をバランスよく画面に入れる。 ・全身と部分の比例を正しくつかむ。 ・線の強弱などのニュアンスにより対象の質感を表現する。 ・作品を振り返り表現の変化の様子などをワークシートにまとめる。また他の人の作品を鑑賞し、表現の工夫などを感じ取る。	発言内容 制作途中の作品 完成作品 完成作品 ワークシート
6	立方体を描く	・デッサン	・立方体の形を正しくつかみ、それぞれの面の明暗の調子をよく観察し、線の粗密などを使い立方体を表現する。	制作途中の作品
7	球体を描く		・球体をよく観察し、球体にあたる光の変化、置いた机に落ちる影と、机からの反射光線が球体にあたる様子など、正しく掴んで描く。	制作途中の作品
	円柱を描く		・見る目の高さによって見え方が違う楕円形と楕円の両端の形を正しくつかみ、光のあたる部分と影、反射光線またテーブルに落ちる影の形を線の粗密などを使い表現する。 ・完成作品を振り返りワークシートにまとめる。また他の人の作品を鑑賞し、表現の工夫などを感じ取る	制作途中の作品 完成作品 ワークシート
9	静物デッサン	・デッサン ・鑑賞	・参考作品を鑑賞し、各自デッサンのテーマやモチーフを決め繰り返し制作することで、技術や表現の向上を図る。 ・自分でモチーフを選び、画面の中のモチーフの配置がよい構図になるように考え配置する。 ・個々のモチーフが同一の平面上に配置されているように描けているか、正しく形を掴んでいるか。それぞれのモチーフの固有色の違いが表されているか、またモチーフに当たる光の方向が正しく描けているかなどを意識して表現する。	発言内容 制作途中の作品 完成作品
10	石膏デッサン	・デッサン ・鑑賞	・自分の表現力に合わせて、幾何形体、首像、胸像などモチーフを選び制作する。	制作途中の作品 完成作品

11	手のデッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフの基本的な量や面、また骨格を正しくとらえる。 ・白い石膏にあたる光と影、反射光線などのトーンを正しく掴み、画面全体の空気感を表現する。 ・手や腕の骨格、手のひらと指のつながり、指や爪などの形の特徴や見えかたを正しくとらえ制作する。 ・腕や手にあたる光が作る量感や皮膚の柔らかさなどを、丁寧に観察して表現する。 	<p>制作途中の作品</p> <p>完成作品</p>
12	写真模写デッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔や人物、静物など自分で模写する写真の題材を選びそれをコピーする。コピーの裏面を鉛筆で黒く塗り、必要な線をパネルに転写する。最も暗い部分を6Bの鉛筆で黒く塗り、この黒の濃さを基準に顔に明暗を鉛筆でつけていく。 ・ティッシュや擦筆を使い調子をやわらかく整え仕上げる。 	<p>制作途中の作品</p> <p>完成作品</p>
1	スクラッチによる写真模写	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒く塗られたスクラッチボードをニードルで削り、ハッチングで白い表現して描かれた作品を鑑賞し、表現内容と技法を理解する。 ・ハッチングで表現しやすい動物や鳥などのモチーフを選び、B5版の大きさにコピーし、裏面を鉛筆で黒く塗りクラッチボードに転写する。 ・明るい部分から中間色、暗い部分へと、針先の違うニードルを使い分け線のハッチングの粗密の違いで明暗表現をする。 ・完成作品を振り返りワークシートにまとめる。また他の人の作品を鑑賞し、表現の工夫などを感じ取る。 	<p>発言内容</p> <p>ワークシート</p> <p>制作途中の作品</p> <p>完成した作品</p> <p>ワークシート</p>

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わおうとしているか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせ、構図や発想に創造的な表現を工夫しているか。
創造的な技能	形の比例、均衡や奥行、調子とらえ方について正しい技能を身につけようとしているか。
鑑賞の能力	美術作品の基本となる素描表現に関心を持ち、自他の作品について正しい理解を深めようとしているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

素描表現ではクロッキーから始まり、立方体・球体・円柱などの幾何形体・静物・石膏・手のデッサン・写真模写などの制作を行います。繰り返しデッサンする中で正しい形や調子・トーンを把握していきます。粘り強い取り組みを期待します。
--